

観察を行い、樹木医として適切な管理等について助言します。

- 2) ホームページ「ちばの巨樹・古木ものごと」の充実、更新、管理を行います。
- 3) 第5回になる「巨樹・古木フォーラム」は、君津市での開催を予定しています。
- 4) 子ども樹木博士、樹木研修会等、みどりの普及・啓発に関する社会的貢献事業を積極的に推進します。
- 5) 会員のための研修会、技術発表会等を開催し、樹木医としての技術や知識の向上に努めます。
- 6) 会報、パンフレット、ホームページ等による広報活動を充実させます。
- 7) 会の諸活動のための財政基盤の充実を図ります。

これらの活動推進には、私ども会員のさらなる技術向上を図るとともに、県市町村をはじめ、みどりと環境の保全に携わる方々のご理解とご支援なしには出来ません。今後ともよろしく御指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 寄稿

### 世界の樹木シリーズ (中国・大同市)

樹木医 有田和實

世界の樹木シリーズ6番目は、中国(中華人民共和国)大同市周辺の樹木についてお話しする。



(写真1. 大同市郊外ではヤオトン「黄土を剥り貫いた住居」が点在し、散見する樹木はドロノキ)

大同市は、北京の西およそ 300km、面積

14,000km<sup>2</sup>、人口約 312 万人の山西省第2の都市である。黄土高原の北端に位置し、内蒙古自治区に万里の長城で接している。大同市の年間降雨量は約 400mm。その7割が夏の3ヵ月に集中し、表土を押し流して浸食谷を刻み、水土流出をすすめる。これが黄土高原である。

### 黄土高原緑化協力の旅、行程

今回も、高野樹木医と一緒に1週間を研修視察してきた。GEN (NPO 緑の地球ネットワーク) 主催「黄土高原緑化協力の旅」に小川真先生を団長として、樹木医中心に 11 人の旅だった。最初、GEN の高見邦雄事務局長の案内で、北京から霊丘県(南天門-霊丘植物園) (写真2・3)、渾源県、応県と3日掛けて廻った。4日目から大同市内の「白登苗圃」、「かけはしの森」で、育苗と果樹剪定などの指導し、「采涼山プロジェクト」、「カサギの森」では、マツ(アブラマツ)などの造林状況を視察した。また、最終日には「雲崗石窟」を視察し、夜行列車で北京に戻り旅を終えた。



(写真2. 南天門「中央の山頂」山麓に霊丘植物園がある)



(写真3. ヤギの食事: 南天門山麓)

## 黄土高原

黄土高原はかつて豊かな森林があったと考えられている。2,000年前、山西省の50%は緑に覆われていたようだ。そこに人が住み、森林を切り開いて畑を作り、都市を築いて森林を破壊した。人が破壊した緑なら、人の手で取り戻さなければならないだろう。環境に国境はない。GENは、中国黄土高原で地元の人たちと一緒に多様性のある森林の再生を目指している。(GENパンフレットより抜粋)

## 育苗と植林

極寒乾燥の黄土高原での植林は非常に困難とされるが、小川先生の指導のもと、菌根菌を活用した育苗(写真4. 5)が成功し、アブラマツの森林が出来始めている。また、地元農民の収入源として、アンズの植林が成功し収穫が行われるようになってきた。



(写真4. アブラマツ苗木-防寒のため土で覆う:白登苗圃)



(写真5. 植林アブラマツの根についた菌根菌)

## 寄稿

## 世界の樹木シリーズⅦ (インド)

樹木医 有田和實

世界の樹木シリーズ7番目は、初夏(気温47℃)のインドからの報告である。インド中心部の、オールドデリー・ニューデリーからタージマハルで有名なアグラ、そしてピンクシティーのジャイプールへの三角形を廻ってきた。



(写真1. 早朝のオールドデリー簡単なパンとチャイの朝食)

## 遺跡、高速道路、都市の緑化

遺跡群の多いインドでは、遺跡の周りを緑で豊かに覆っていた。熱帯特有の、インドゴムやアコウ等クワ科の常緑樹が、多くの庭園や街角で緑陰を作っている。大都市をつないでいる高速道路脇の街路樹は、郊外に行くとユーカリの列植(写真2)が目立った。都市



(写真2. ユーカリの列植)

部に入ると、多くの種類の樹木が混植されている。その緑の中に、黄金色のキングサリ(写真3. 4. 5)やピンクのアツバサルスベリ



(写真6) やブーゲンビリアの花が鮮やかに咲き誇っている。



(写真3. 緑豊かなニューデリーのアコウ大木とキングサリ)



(写真4. 道路脇に咲く鮮やかなキングサリ)



(写真5. 純白のタージマハルに良く似合う黄金色のキングサリ)



(写真6. アツバサルスベリの花)

## 公園、宅地の緑化



(写真7. 公園や宅地内のインドキワタ) に活用された。インドキワタの花は白色が多いが、トックリキワタはピンクの美しい花が咲く。ニーム(インドセンダン) は公共の場所に多く植栽され(写真8)、緑陰等に活用されている。葉は香料や薬品として活用されている。

公園  
や宅地内に  
落葉のイン  
ドキワタ  
(写真7)  
が多く植栽  
されている。  
かつては、  
果実から木



(写真8. ニーム「インドセンダン」の木陰で休憩する人々)



(写真9. 宅地内によく見かけるアショカ)

## 寄稿

### 世界の樹木シリーズⅧ (エジプト)

樹木医 有田和實

世界の樹木シリーズ8番目は、インドに続き猛暑(気温55℃以上)のエジプトからの報告である。

#### 農村風景

9月のエジプトは、まだまだ暑い最中であった。主な農産品である、ナツメヤシ・ゴマは南部で収穫期に入り、たわわに実ったナツメヤシの果実の収穫や、背丈を超えるゴマの束が各地の畑で乾燥風景がみられた。農道一杯になるほどの収穫物を、小さなロバが運搬している風景が各地でみられた。列車移動の車窓からは、北部(アレキサンドリア地域)に向かうに従い、コメの収穫期で稲刈り風景(写真1)が散見され、日本の田圃風景と見紛う景色であった。



(写真1. 車窓からの稲刈り風景)

カイロ→アレキサンドリア)

#### ナツメヤシ

ナツメヤシ(写真2.3)は、エジプトでは、街でも農家でも、



(写真2. ナツメヤシ)

道路周辺や緑地等どこでも、たわわに実った黄金色の果実が見られる。



(写真3. ナツメヤシはどこでも植えられている：ピラミッド近くのホテルの庭園)



「こうやって収穫なんだよ！」農家のおじさんが完熟ナツメヤシの果実を1房も穫ってくれた。(写真4)

(写真4. ナツメヤシの収穫)



(写真5. 街路樹ベンジャミン：クソール・ナイル河畔)



(写真6. 街路樹?ギンネム)





(写真7. ヤシ?ユッカ?: ルクソール・ナイル河畔)



(写真8. アルシンベル宮殿唯一の樹木: アカシアの仲間)



(写真9. トックリキワタ: イトキワより花がきれい)



(写真10. ネムノキの仲間: マメ科)



(写真11. 豊富な果物売り場、手前にはカキも並んでいた: アレキサンドリア)

## 寄稿

### 阿里山櫻樹治療(臺灣)

樹木医 有田和實

#### 1. はじめに

一般社団法人街路樹診断協会と、台湾国立中興大学共催の「阿里山櫻診断治療研修会」に参加した。研修団は平成 21 年 2 月 1 日から 5 日まで台湾に滞在し、阿里山の櫻樹治療や、行政院農業委員会 顔 仁徳局長、台北市公園路燈管理處 陳 嘉欽處長との意見交換などを行ってきた。台湾での樹木治療は、主に薬剤に頼るところが多く、樹勢回復や不定根誘導等の技術に関心を寄せていた。

#### 2. 阿里山櫻樹治療と指導研修

今回の研修には、日本から 8 名の樹木医(写真 1) が参加した。台湾側からは中興大学教授 17 期 劉 東啓樹木医、並びに中興大学院生 20 名や資材提供者、台湾人ボランティアが参加した。嘉義林区管理處阿里山工作站 洪 叔霞 技正 (11 年前・楊樹木医が治療時に立ち会った当時の係長) が立ち会って、てんぐ巢病罹病枝剪定方法、根系活性化、不定根誘導治療、土壌根系調査、透水試験、外柵設置方法等について治療並びに指導研修を行った。



(写真1. 有賀樹木医、劉樹木医、田中樹木医、廖氏、有田樹木医)

11年前に楊樹木医(3期生)が行ったソメイヨシノ樹幹腐朽部処理(腐朽部切削後ウレタン充填)は、腐朽部を抑えるのには大いに有効であり、開花を回復し台湾の人々を楽しませてくれた。今回は、樹勢回復に主眼を置き、てんぐ巣病罹病枝剪定・根系の活性化・不定根誘導(写真2・3・4・5・6)を行った。



(写真2. てんぐ巣病の説明 - 有田樹木医)



(写真3. てんぐ巣病罹病枝剪定の講習)



(写真4. 不定根誘導の講習)



(写真5. 根系活性化治療後・竹を利用して外柵を設置)



(写真6. 不定根誘導完成と根系活性化・パークマルチ)

### 3. 阿里山

阿里山(写真7)は台湾中心部の山岳地帯(標高2,000m)に位置し、日本統治時代に、鉄道を敷設して特産の紅檜切り出しを行ったところである。頂上付近は避暑地として、また玉山(新高山 3,952m)日の出遥拝處として有名である。戦前「阿里山賓館」の周辺に植栽された櫻(ソメイヨシノが中心)は、80年近くを経てもなお、幹周1mに達せず、気象(雲霧)や土壌の影響かと思われた。



(写真7. 阿里山森林遊楽区遊歩道)





(写真8. 遊歩道の入口に聳える香林神木)

紅檜 *Chamaecyparis formosensis*. Matsum.

胸圍：12.3m 樹高：45m 樹齡：約2300年)

阿里山森林遊樂区(写真7)：阿里山五不思議(日出・雲海・森林・高山鐵路・夜霧)は有名である。森林浴遊歩道は4kmの長さで、紅檜を中心の巨古木(写真8)が残っている。



(写真9. 阿里山へ「標高1,200m地点」寒緋櫻が満開)



(写真10. 熔樹「ガジュマル」トビアリーの街路樹)



(写真11. 火焰カズラ「化縣永靖郷」)



(写真12. 春節1週間前の果樹市場では、御目出度い各種キンカンが並んでいる【彰化縣永靖郷】)

## 景観資材・防護柵・販売・施工

防護柵 ・ フェンス 防球ネット ・ シェルター  
 アルミ柵 ・ ステンレス柵 ・ 高欄 ・ 親柱 ・ 車止  
 公園資材 ・ サイン ・ 駐輪施設 ・ 防音壁  
 土木 ・ 外構工事一式

<http://www.k-toyo.co.jp>

**東洋産業株式会社**

TEL043(422)4100

千葉市若葉区若松町717-12